

☆登山とハイキングの  
普及と向上に全力をあげよう  
☆力をあわせ何としても  
300名会員を回復しよう

ろうさんKAGAWA  
県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟  
No.52-9 2018.11.29  
高松市松縄町1005-4  
電話：087-865-7521

## 日本勤労者山岳連盟 第17回全国登山研究集会に参加して《その1》

11月23日・24日  
新城市モリトピア  
愛知で開かれた労  
山全国登山研究集  
会に参加して来た。  
北海道から九州ま  
で27都道府県か  
ら181名の参加



で、さまざまな活動や経験が報告され、五つの分科会では、各会の報告や問題提起もあり意見交換した。

四国から香川3名、徳島3名、愛媛1名が参加し全国の仲間と意見交換・交流した。集会を通じて、香川の登山活動にとって得るものが多い集会だった。

また、この集会に先立ち全国から48通のレポートが寄せられた。事務局から事前にレポート集が郵送されて、参加者はかならず目を通して参加するよう通知があった。

浦添理事長は全国連盟を代表して、「今年の全国登山研究集会に各会から寄せられたレポートの内容は深いものがある」と述べ、労山運動をさらに発展させようと挨拶。

続いて、大澤辰夫実行委員長・副理事長が基調報告し、はじめに今回のテーマ「誰もが登山できる喜びを広め、登山文化と労山運動を次世代に継承発展させよう！」と目的について報告した。

「労山は、登山・ハイキングを広範な人々に健康で文化的なスポーツ・レクリエーションとして普及・発展目指す活動を行って来た。いま、多様に発展した労山の登山活動で、安全登山の技術の継承や、若者や未組織登山者のさまざまな登山要求に応えていくことが求められている。この集会では、

- ①会員誰もが登山出来るよう仲間づくりを目指して組織の拡大・強化。
- ②遭難事故のない登山を追求し、それを実現する登山技術と登山文化の継承。
- ③登山者の多様な要求に応える活動について、日頃の実践と成果を共有し、労山をさらに大きく

発展させよう。」と開くものです。

さらに、6団体：①愛知・犬山勤労者山の会マップ（46名）、②道央・バビシェ・マウンテン・クラブ（140名）、③山形・ROUZAN鶴岡（21名）、④神奈川・川崎ハイキングクラブ（117名）、⑤静岡・三島勤労者山岳連盟（62名）、⑥京都府連（1002名）から活動報告を受け、翌日は分科会に参加しました。注（ ）内は会員数。

各会とも会運営する上で、個々の会員に対して平等で、民主的運営に徹しています。会員の存在を大切に、自主性を重んじるとともに会員の成長のために会が努力しているところでは会員を減らさず、会員数を伸ばしていることでした。

会独自に登山学校を開設したり、公開登山を一般公募して会員を増やしています。そのために、市広報や地元紙に掲載するほか、近郊の山に行ってチラシを渡して募集しています。

また、会の機関紙の改善（一部カラー化）や、ホームページの充実・更新につとめ、Facebookに自動UPする仕組みを導入している会も在ります。

今日、HPを通じて入会する人が圧倒的に多いこと。HPの編集に力を注ぎ、若者向けのジャンルの写真や楽しい雰囲気表現した写真をアップしています。

成功している会に共通しているのは、民主的運営と会の原則を貫いていることです。入会したら、どこかの専門部に入って活動することを条件にしています。奈良ハイキングクラブ（92人）でも、入会したら専門部に入ることが条件。1年経過したらSLを担当、2年経過したらCLとSLを担当してもらいます。

北海道のバビシェ（札幌・北区）は、10年前に9人の仲間スタートした会ですが、140名の会員を擁し、20~40代の会員が7割占めています。従来の山岳会にとらわれない自由な発想をイメージ



するカタカナ名にし、敷居を低くして一般の人に入りやすい会を目指しました。「滑り派」と言われるスキーやボードのバックカントリーが広まって来ていて、その愛好者も受け入れました。同時にフリークライミングやボルダーなどを楽しんでいる人たちも仲間に誘いました。ホームページもいち早くとりいれ、スノーシューやボルダー、焚火、クライミングジム等写真を多く取り入れました。若者向けするポスターを作ったり、自由に持って行ける名刺を作り、いつでも連絡が出来るようにしました。それらが功を奏して半年後に20~30代の若者が入会して、待ち望んでいたのが家族が増えたように喜んで指導しました。この面倒見の良さが新人に受けて、何でも自由に話せるような雰囲気を作りました。話しをするとき、相談を受けるといふ姿勢で良い面と悪い面を、



両方を説明しています。北海道新聞から「山ガール」の本を出さないかと要望があり、クラブ員がモデルとなって写真を撮って原稿を作ったそうです。2010年に発行され、大手の書店で1位になったことがあり、増刷したほど売れ行きが好調で、その本を持参して例会に来た人がおりました。4年後に第2段も発行になりました。敷居を低くしているの、同好会と間違えて入ってくる人もおりますが、280名入会して140名退会しています。入会したら、入門講座4回、訓練講座4回あります。それぞれ次の週、実技でフォロー山行を行っています。山が初めての人には夏山山行もあり、スタッフはその時期になると大忙しです。基本的にまずは、体験をした方がよいのではないかと勧めています。学生は入れません、卒業したらどこかに行きますので。研究生はOKです。

まだまだ、報告したい事を書ききれません。

記：県連事務局長 前田 隆

☆ **里山・讃岐山脈ロングトレイルなど**  
**楽しく安全で意欲的な山行を**  
 ☆ **全会が増勢、総会目標にこだわろう**

11月には高松(男68遭難対策講習会)と五色(男37NHK視聴)で2名の入会がありました。県連「300会員回復3ケ年計画」に着手しての累計では+48-49で出発点に戻っています。とくに計画達成の山場である2年度=本年は+21-28で大きく後退しています。

2017年2月末の計画起点に対して、増勢になっているのは、高松

山歩会、五色、さかいで、あけぼのの5会です。また、来年の総会目標を達成しているのはあけぼのだけです。

来年3月の県連総会までの全会の仲間づくりの取り組みを飛躍させ、全会が

増勢に転じ、自らが決めた総会目標の達成のために力を合わせましょう。

冬山だけでなく、讃岐山脈ロングトレイルや里山にも一緒に出かけましょう。

初級登山学校、遭難対策講習会、公募山行やハイクなどの参加者に総当たりしましょう。

☆☆ 300会員回復3ケ年計画の進行状況 ☆☆

	起点数 17.2末	第1年度 17.3~02	第2年度 18.3~11	合計増減 ~18.11	現会員数 18.11 増減	次期総会 目標 残数
高松勤労者山の会	24	+1	+2	+3	27 ◎3	30 3
高松ハイキングクラブ	11	+1-2	-5	+1-7	5 ▼6	15 10
さぬき山歩会	18	+1-1	+3-2	+4-3	19 ◎1	20 1
山岳同人 五色の峰	7		+3-1	+3-1	9 ◎2	10 1
さかいで山の会	29	+6-5	+4-4	+10-9	30 ◎1	35 10
塩飽山の会	47	+2-2	+1-2	+3-4	46 ▼1	50 4
善通寺山の会	60	+9-4	+3-11	+12-15	57 ▼3	70 13
観音寺あけぼの山の会	30	+5-4	+4	+9-4	35 ◎5	33 ◎2
観音寺ハイキングクラブ	27	+2-3	+1-3	+3-6	24 ▼3	30 6
県合計	253	+27-21	+21-28	+48-49	252 ▼1	275 23



# 県連理事会⑧の報告

## 《ヒヤリハット》

○あけぼの：10/18午後、二の森から石鎚への縦走途中の西冠直下。つかみ手を滑らせて笹原の急斜面を10㍍ほど滑落。ザイルで引き上げて怪我なし。

## 《行事報告》

- 登山学校の打ち合わせ 10月30日 観音寺
  - ・観音寺で来年4月に開校
  - ・講座「地図とコンパス」は、あけぼので担当。
- 会員拡大の取り組み 前頁
- 10/20~21第6回女性交流登山in梶ヶ森
  - ・来年度は高松労山が中心になって日帰り山行
- 10/28四国ブロック遭難対策講習会
  - ・一般22名を含む121名の参加で成功裏に終わった。準備万端で当日の人配置も充実。香川58、徳島24、高知11、愛媛6、一般22名
  - ・高松市登山学校から参加してくれた。
  - ・講演内容が良く解りやすかった。資料が良くできていた。講師の野尻さんは、3ヶ月前から四国の天気のことまで調べて準備。
- 讃岐山脈ロングトレイル実行委員会 10/30
  - ・2019年5月の四国B交流ハイクの行事で予定。
  - ・塩飽：11/17二双越~大川山、12/2 ~東山峠
  - ・山歩：11/25女体山~相草東、12/24 ~〇〇
  - ・さかいで：12/16東山峠~真鈴峠、
  - ・あけぼの：11/25余木崎~唐谷峠12/9~雲辺寺

## 《四国ブロック協議会定例会議 11/18》

- 2019四国ブロック交流ハイキング
  - 徳島県「ファガスの森」にて 5月18・19日
- 沢登り講習会（愛媛県連主管）
  - 「富里溪谷かゆらぎの森」を計画 8月24・25日
- 2019四国ブロック遭難対策講習会
  - （高知県連主管）6月23日
- 徳島で来年度、自然保護集会を検討。

# 第38回 五色台クリーンハイク

好天の11月11日、恒例の五色台クリーンハイクが行われ、79人が7コースに分かれて、529kgのゴミを集めました。一般ゴミは少なくなっていますが、各所に粗大ゴミの放置が目立ちます。

香川県勤労者山岳連盟 自然保護委員会									
コース名	参加者数			可燃物	カンビン	プラ・ペット	粗大ゴミ	合計	備考
会名	大	小	合						
	人	人	計	kg	kg	kg	kg	kg	
下笠居									
さぬき山歩会	3		3	34	21	4	10	69	毛布3枚
下笠居									
善通寺山の会	12		12	6	3	4	50	63	プリンター、マナー、洗浄機、イス、ソファ、パソコ株、植木
大崎の鼻A									
塩飽山の会	19		19	40	27	12	20	99	ペール缶、プラスチック板、銃身のないライフル(モデルガン?)
一般参加者	4		4						
大崎の鼻B									
さかいで山の会	9		9	26	15	0	91	132	ホウリングの球、冷風機、電気ストーブ2台、ダイエットマシン、アゼナ
大崎の鼻C									
高松勤労者山の会	7		7	26	30	0	80	136	標識、アンテナ、スピーカー、フロン管テレビ、掃除機、残した粗大ごみあり
高松ハイキングクラブ	3		3						
白峰寺廻路									
五色の峰	4		4						
一般参加者	2		2	2	3	0	0	5	
休暇村									
一般参加者	0		0				0	0	
白峰寺									
観音寺あけぼの山の会	11		11	8	9	8	0	25	
観音寺ハイキングクラブ	5		5						
	79		79	142	108	28	251	529	

昼からの全体集会では、各界からの挨拶に続き、地球温暖化防止活動推進委員の吉井智子さんから「地球温暖化防止について」の特別講演が行われました。



## 救助隊：模擬捜査訓練

はじめての山域：七宝山での模擬捜査訓練が11月18日に行われ、25人(高⑥・五②・さ①・塩⑤・善④・あ⑥・愛媛①)が参加しました。

6時にあけぼの山の会の事務所に集合。遭難の経緯と山域の説明の後、4班に分かれて捜索訓練を行いました。里山で、地図にのっていない山道や獣道も多く、分かりづらいことはなほだしい現場でした。

9時半に、10㍍程度滑落し、左足首を捻挫した遭難者を発見。登山道までは背負で立木1ターンでこぼろ抜き。その後は訓練を兼ねてザックタンカで搬出を実施。12時半に車道に到達し訓練終了。

- 反省点。①無線の中継点を確保する必要あり。
- ②どんな場合も3S A B C Dの対応が必要。

各会の山行一覽とこれからの山行予定 ◎例会山行 ☆個人山行

Table with columns: 会名, 10/22~11/25の山行内容 (月日, 山行名, CL, 参加), 12月予定 (日, 山行名), 2019年1月予定 (日, 山行名). Rows include various hiking groups like 高松, 山歩会, 五色の峰, etc.

十二月 県連行事

☆28日(水)19時半～ 讃岐山脈トレイル実行委 高松
☆19日(水)19時～ 県連第9回拡大理事会 善通寺
【招集対象】県連理事/各会会長・事務局長・拡大担当役員